

令和3年度 ヘルシーワークプレイス推進委員会 活動報告

<p>■委員名</p>	<p>委員長：井上真由美 副委員長：宮原明美 委員：阿波栄子・池澤加代子・内田雅英・尾崎淳子・勝間収子・肥塚喜子 竹内悦子・馬場敦子・濱田啓子・前田志眞子・山中恵・大迫しのぶ 木谷恵</p>
<p>■開催回数</p>	<p>6回</p>
<p>■活動目標</p>	<p>1. ヘルシーワークプレイスの推進と実現のための企画・運営を行う。 2. その他、委員会の目的達成に必要な事項を検討する。</p>
<p>■活動内容</p>	<p>1. ヘルシーワークプレイスの推進と実現のための企画・運営</p> <p>1) 施設のヘルシーワークプレイスの現状に関する情報収集を実施し、問題点を明らかにして支援方法を検討する。</p> <p>(1) 訪問看護ステーションの勤務環境に関する問題を訪問看護総合支援センターが実施するアンケート結果を基に分析し、支援方法を検討していく計画であるが、支援センターの進捗に合わせ今後検討する予定である。</p> <p>(2) 令和3年8月24日看護管理者情報交換会を通して、下記にあるような新型コロナウイルス感染症に対する看護管理者の取り組みや課題を共有した。</p> <p style="margin-left: 2em;">課題 ・新型コロナウイルスの具体的な感染対策 ・職員のメンタルヘルス ・クラスターへの対策整備 ・地域の病院との連携、相談体制 ・リソースナースの活用</p> <p>2) ヘルシーワークプレイス推進研修 テーマ：「ヘルシーワークプレイス推進研修 ～看護職が働き続けられる職場を目指して～」 時 期：令和4年1月27日 対象者：後輩を持つすべての看護職・看護管理者等 WLB 取り組み報告：東宝塚さとう病院 講 演：「叱り方が変われば、組織は変わる！！」 講 師：ひょうご仕事と生活センター外部相談員、有限会社 OFFICE HARMO 代表 取締役 喜田菜穂子 氏 参加者：137名（オンライン130名）</p> <p>3) 勤務環境改善に取り組む施設の支援</p> <p>(1) 令和3年度医療従事者のインデックス調査の助成及び支援 WLBに継続して取り組んでいる5施設に対して、WLBインデックス調査の実施と助言等の支援を実施する予定であったが、令和2年度に続き新型コロナウイルス感染症への対応に医療現場が注力している現状から、実施時期について検討中である。</p> <p>(2) WLB 取り組みについての報告会 ヘルシーワークプレイス推進研修と併せて令和元年度医療従事者のWLBインデックス調査を実施した東宝塚さとう病院が取り組みについて報告した。</p>

	<p>4) 関係機関と連携を図る。 兵庫県看護協会ナースセンター、兵庫県看護協会各支部の他、本委員会の外部委員を通じて、兵庫県健康福祉部健康局医務課、兵庫県労働局雇用環境・均等部指導課、兵庫県社会保険労務士会、ひょうご仕事と生活センター等、兵庫県内の関係機関と連携し、様々な観点からの情報交換及び議論を踏まえて活動を実施した。</p> <p>5) ヘルシーワークプレイスの啓発活動 ヘルシーワークプレイスに関連する資料、リーフレットの配布は、次年度に実施する。</p> <p>6) コロナ禍における看護管理者のための情報交換会を実施 テーマ：「コロナ禍におけるヘルシーワークプレイスの実現を目指して ～今こそ看護管理者の取り組みを共有しよう～」 時 期：令和3年8月24日15:00～16:00 対象者：看護管理者（会員・非会員を問わず） 施設発表：兵庫県立尼崎総合医療センター 神戸朝日病院 参加者：45名</p>
<p>■活動の評価</p>	<p>1. ヘルシーワークプレイスの推進と実現のための企画・運営</p> <p>1) 施設のヘルシーワークプレイスの現状に関する情報収集を実施し、問題点を明らかにし、支援方法を検討した。</p> <p>(1) 今まで訪問看護ステーションの施設に焦点をあてる機会が少なく、現状を知る機会がなかったが、アンケート結果を通して詳細を知ることができると考えた。訪問看護総合支援センターが実施する勤務環境に関するアンケート結果を待ち、それを基にヘルシーワークプレイス推進委員会として検討する予定である。</p> <p>(2) 令和3年8月24日に実施した看護管理者情報交換会を通して、各施設の管理者がコロナ禍における施設運営の対処について貴重な体験や悩み等の情報交換を行った。コロナ禍にある問題点として、新型コロナウイルスの具体的な感染対策、職員のメンタルヘルス、クラスターへの対策整備、地域の病院との連携、リソースナースの活用等が挙げられた。オンライン形式であったが、コロナ禍で他施設との交流が少ない時期に情報交換の場を設けたことで、参加者の97%から「施設発表が参考になった」、87%が「情報交換会がよかった」とのアンケート回答が得られた。また、コロナ禍において管理者が感じている課題も一部明らかにすることができた。看護管理者としてヘルシーワークプレイスの視点から整備や、準備が必要なことの発見や気づきの場となり、意義のある研修会であったと考える。</p> <p>2) 令和4年1月27日にヘルシーワークプレイス推進研修会を実施した。</p> <p>(1) WLB 取り組みについての報告 令和元年度医療従事者のWLB インデックス調査を実施した東宝塚さとう病院が取り組みの報告会を実施した。2年前の調査によるものであるが、他病院のWLBへの取り組みについて知るよい機会になった。</p> <p>(2) ハラスメント防止を目的に組織にプラスに働く「叱り方」のテーマで講師を招聘し、来館・オンラインの併用で実施した。対象を、後輩を持つすべての看護職・管理者等と幅広くし、さらにオンライン・グループ参加可の条件も相まって多くの参加があった。アンケート結果より、94%が「新たに気付いたことがあつ</p>

	<p>た」77%が「実務への活用について期待できる」とあり、ワークを通して、自分を振り返ることができた、講義内容をより具体的に理解できた、との感想があった。講師からは、可能であれば対面での研修実施が効果的とのことであったので、時期によっては対面での研修を企画する。</p> <p>3) 勤務環境改善推進に取り組む施設の支援</p> <p>(1) 医療従事者のインデックス調査の助成及び支援については、3年間は継続して支援する予定である。昨年度より新型コロナウイルス感染症への対応で医療現場が疲弊している現状から、時期として適切ではないと判断し実施時期を延長している。対象施設の前回実施時期との期間が長くなっていることも勘案し、次年度は調査内容の検討も含め施設にとって適切な時期を計画していく。</p> <p>4) 関係機関との連携を実施</p> <p>(1) 昨年度に引き続き研修会の講師を、ひょうご仕事と生活センターの支援を受け、外部相談員である講師を派遣していただいた。</p> <p>(2) 当委員会構成員は兵庫県内の関係機関から構成されており、様々な観点からの勤務環境改善及びヘルシーワークプレイス推進に関する情報や意見を得ることができている。</p> <p>5) ヘルシーワークプレイスの啓発活動</p> <p>ヘルシーワークプレイスに関連する資料、リーフレットの配布は次年度に実施する。</p>
<p>■今後の課題</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・施設のヘルシーワークプレイスの現状に関する情報収集を行い、それに対する具体的な支援方法及び委員会活動の今後のあり方について検討する。 ・ヘルシーワークプレイスの啓発方法を検討する。